

今本委員からの質問

2002.10.7

河川管理者 殿

本日（といっても昨日になりましたが）のダムWGでのご説明有難うございました。

小生は前回のダムWGを所用のため欠席しましたが、予定では丹生ダムについての説明があるとのことでした。それが延期されたとのことで、本日のダムWGでお伺いできると思っておりましたが、余野川ダムの説明でしたので、丹生ダムの説明があれば質問したいと準備していたことを質問させていただきます。

本質問は、去る9月18日に淀川水系流域委員会庶務の三菱総研を通じて送付されました水資源開発公団丹生ダム建設所による「丹生ダム周辺の自然環境(中間報告)」に示されましたデータによるものです。

P1には、丹生ダム建設事業の目的の一つとして新規利水が挙げられ、

大阪府 最大 2.474m³/s

阪神水道事業団 最大 0.556m³/s

京都府 最大 0.200m³/s

の合計最大3.240m³/sの水道用水を供給すると述べられています。

一方、P14には、流量の調査結果として、丹生ダム下流の菅並地点での月別平均流量は、最大が3月の17.5m³/s、最小が8月の4.5m³/s、平均は8.6m³/sとなっています。

両者の比較より、月別の最小流量は利水用の最大水道用水を上回っており、ダムがなくても自然流下の状態で利水できることを意味しているように思われます。

このような流況のもとで、なぜダムが利水用として必要なのかご説明いただけませんか。

今本 博 健